

円借款事業事後評価第三者意見（中国）

林家彬

（中国国務院發展研究センター社会發展研究部副部長）

今回の事後評価対象となる五つの案件は、いずれも中国の第十次五ヵ年計画期間中（2001－2005年）に基本的に完成されたインフラ整備事業である。その内訳は、発電所建設事業二つ（湖南省沅水流域水力発電事業と江西九江火力発電所建設事業（1）（2））、電力網拡充事業一つ（ハルビン電力網拡充事業）、高速道路建設事業二つ（梁平-長寿高速道路建設事業と海南（東線）高速道路拡張事業）である。大雑把に分類すれば、電力事業と高速道路事業となる。

まずマクロ的な視点から見れば、これらの事業が近年の中国の経済成長に果たした役割は大きい。第十次五ヵ年計画のスタートと同時に、2001年から中国経済は新しい成長周期に入り、2002年の末ごろから「煤、電、油、運」（石炭、電力、石油、運輸）のボトルネックが現れ、その解消はマクロコントロールの重要課題となった。これらの事業はいずれも第十次五ヵ年計画の期間中に完成・供用されたため、ボトルネックの解消に大きく寄与したことは言うまでもない。

次に地域開発の視点から見ると、これらの事業は中国の地域開発戦略と高い整合性を有している。中国の改革・開放以降の地域開発戦略の軌跡を振り返れば、1980年代の沿海地域開発戦略、1990年代末の西部大開発戦略、そして新世紀に入ってから東北地域振興戦略、中部地域振興戦略が段階的に打ち出された。これらの事業の所在地と上記の各地域開発戦略との対応関係を、次の表で一覧することができる。

表 各事業と地域開発戦略との対応関係

事業名	所在地	所在地の地域開発戦略上の位置づけ	事業の果たす役割
海南（東線）高速道路拡張事業	海南省	1988年に中国最大の経済特区。現在は観光立省、生態立省	沿線の観光開発、農業開発のテコ
梁平-長寿高速道路建設事業	重慶市	西部大開発戦略の重要拠点	交通の便が大きく改善されることによって、産業構造の向上、住民生活の利便に寄与
ハルビン電力網拡充事業	黒龍江省 ハルビン市	東北振興戦略の重要拠点	電力網の信頼性と効率性の向上により、産業効率の

			向上と住民生活の利便に寄与
湖南省沅水流域水力発電事業	湖南省	中部振興戦略の対象地域	電力需給の改善により、地域経済の振興をサポート
江西九江火力発電所建設事業（１）（２）	江西省 九江市	中部振興戦略の対象地域 と重要拠点	電力需給の改善により、地域経済の振興をサポート

上の表から分かるように、これらの事業の所在地はそれぞれ中国の地域開発戦略上重要な意味合いを持っており、これらの事業は所在地域にとって極めて重要な社会基盤施設であるため、地域開発の中で重要な役割を果たすことによって中国の地域開発戦略にも大きく寄与することになる。

その内、梁平-長寿高速道路は2008年5月12日に発生した四川省大地震の被災地域にあるため、地震救援活動に大きな役割を果たしたことは特筆に値する。四川大地震では、重慶市地域においては梁平県で特に被害が大きく、同県文化鎮では小学校が倒壊し、児童40名が生き埋めとなり、4人が死亡した。重慶—長寿、長寿—梁平高速道路は地震による被害はほとんどなかったため、これら高速道路は緊急救援物資の緊急輸送路として社会的役割を発揮し、救援・緊急事態への政府の対応に大変役立った。そのために本高速道路は地元政府・社会から高い評価を受けた。

なお、これらの事業はいずれも設計、建設、運営の各段階において環境に対して細心の注意を払っており、その内地元政府から表彰を受けたものもある（重慶市から「最優秀緑化表彰」を受けた梁平-長寿高速道路建設事業）。円借款事業は、環境問題が深刻化しつつあり、ますます環境対策を重視する中国にとって、建設プロジェクトの遂行に際して如何に環境保全と両立させるかについて、良いお手本を樹立したと言える。

本稿の執筆に取り掛かる際、ちょうど中国が改革・開放の30周年を記念する時期である。思えば、対中円借款も間もなく30周年を迎えることになる。円借款事業は中国の改革・開放以来の経済の高度成長と共に歩み、その重点分野もインフラ整備、農業開発、環境保全と移り変わり、中国の時代の要請に一致し、時には先取りさえして、中国の30年来の国づくりに大きく貢献したと高く評価すべきである。